

H22_⑤「公園利用者数・利用者ニーズ把握の手法」に関する調査

調査項目⑤「公園利用者数・利用者ニーズ把握の手法」に関する調査

調査年次 平成 22 年度

目的

公園緑地の利用者数情報は、都市公園の利用状況を端的に示し、行政評価、事業評価の指標として活用することができる。利用者のニーズ情報は、公園緑地の整備運営の直接の受益者による意見・要望であり、重要な参考情報である。
しかしながら、利用者数・利用者ニーズの把握には、把握に掛かる労力やコスト負担、情報の偏りに課題があると言われている。本調査は、かかる課題を解決・軽減する利用者数および利用者ニーズ把握の手法を提案することを目的とする。

概要

大都市の公園部局を対象としたアンケート調査を実施したほか、検討会により利用者数および利用者ニーズの把握の現状と課題について確認を行った。

アンケート調査と検討会により確認された現状や課題をもとに、課題の解決・軽減を図る上で望ましい利用者数・利用者ニーズ把握の手法の提案を行った。さらに、利用者数の把握手法に関しては、サンプルデータによる把握（推計）手法の検証を行い、その手法の有効性について調査した。

結果

■ 利用者数把握・利用者ニーズ把握の現状

大都市にアンケート調査を実施し、大都市公園行政における利用者数把握・利用者ニーズ把握の現状を確認した。

■ 利用者数・利用者ニーズ把握手法の提案

利用者数把握では、日常的な業務として行われる巡視時等に目視でカウントした利用者数から 1 日の利用者数に拡大補正する手法と、そうした現地調査を行わずに利用者数を推計する手法、機械式計数機を利用する手法を提案した。

利用者ニーズ把握では、＜調査に掛かる費用や労力等の負担の軽減を図る手法＞と＜幅広い意見の収集を図る方法＞について 6 つの手法を提案し、各手法の特性について整理を行った。

■ 利用者数推計手法の検証

前章で提案した手法の中から＜時間帯別補正係数による推計法＞と＜公園周辺の人口分布や公園の位置関係から推計する方法＞について、利用者数のサンプルデータを用い、それら推計法による結果の検証を行った。

■ 調査総括

提案・紹介した手法等について総括するとともに、今後の課題を整理した。

調査結果の反映等

キーワード 利用者数、推計、利用者ニーズ、把握

事例公園等